

令和2年第2回当別町議会定例会一般質問通告一覧

令和2年6月定例会

順序	議員名	要 旨
1 番	佐々木 常子	<p>1 防災・減災対策について</p> <p>(1) コロナウィルス感染症拡大している状況において、万が一災害が起こった場合の対策について内閣府から発表があったが、当別町としての対策を伺う。</p> <p>(2) 福祉避難所が1ヵ所しかないが足りないのではないかと。太美地区の避難所の一つにその機能を持たせてはどうか、伺う。</p> <p>(3) 外国の方や聴覚障がい者のために各避難所に言語カードを用意してはどうか、伺う。</p> <p>(4) ペット同行避難について当別町としての対策を伺う。</p> <p>2 ICTを活用した学習支援について</p> <p>(1) コロナウィルス感染症が拡大したため休校措置がとられたが、当別の子供たちへの学習サポートとして当別町教育委員会のホームページを充実すべきではないかと、伺う。</p> <p>(2) eラーニングを是非取り入れるべきだと思うが状況を伺う。</p> <p>(3) 今後、ますますICTを活用した学習が進んでいくと思うが当別町教育委員会としての考えを伺う。</p>
2 番	櫻井 紀栄	<p>1 子どもたちの当別町スタイルの学習、居場所づくりについて</p> <p>(1) 吹雪、インフルエンザ、コロナウィルス感染症等で休校になったときの学習対応について</p> <p>① 今回の学校休校中の家庭学習支援の実施状況とその評価</p> <p>② ネット環境が各家庭にあるのかどうかのアンケート結果について</p> <p>③ 公平にオンライン授業を行うために家庭にネット環境やパソコンがない場合の対応について</p> <p>(2) 子どもの自宅待機中や雨や吹雪で外に出ることの出来ない日の遊びや学習のサポート</p> <p>① 当別町として、子どもの命を守る感染防止と子どもの遊び環境と居場所づくりのバランスをどうやって考えるのか</p> <p>② 子ども同士が群れて遊ぶ場やコミュニケーションがとても重要であると再認識させられた。当別町においては冬場の遊び場確保が必須である。天候に関係なく遊べて体を動かせる遊具を設置した室内施設について</p> <p>③ 家の中で体を使って遊ぶことのできる用具（トランポリン、滑り台、鉄棒、ピアノ楽器等）の購入、貸出について</p>

		<p>2 最新情報を円滑に伝達するための手段について</p> <p>(1) 誰もが等しく情報を得ることが出来るコミュニティFMの検討について</p>
3 番	澁谷 俊和	<p>1 JR太美駅の環境整備について</p> <p>(1) 東西通路（跨線橋）に巣くっている鳩の糞対策について、3月定例会の私の質問に対し「ハトが住みついている様子は見受けられない」と答弁されたが、何を根拠に断言するのか。このあとも毎日様子を見ているが、逆に鳩のいない日は無い位、ヒドイ状態だ。跨線橋の窓ガラスに「ハトに餌をあげないで下さい」と表示して対策を取っていると言うが「ハトは字を読みません」現地を利用している住民が訴えているんだから、町はまともに受け止めるべきでないか。改めて町長の見解を伺う。</p> <p>2 町営住宅について</p> <p>(1) 子育て世帯を対象にした町住建設は、多くの町民から歓迎されている。ただ春日団地3・4階建てを除いて他の団地すべての町住は、40年～50年以上経過し、耐用年数が過ぎているヒドイ状態である。ここに住んでいる人達に、自分の住んでいる団地を含めて、今後具体的にどうなっていくのか。少なくとも年次別に将来を見通せるような方向を町は具体的に明示すべきと思うが町長の見解を伺う。</p> <p>3 JR新駅構想について</p> <p>(1) 当別町第6次総合計画との関連について この計画は町政の基本的な方向を総合的に示す「当別町の最上位計画」であり、当別町民と行政の「共通の指針」としての性格を持つと位置付けている。新駅構想との関連について町長の見解を伺う。</p> <p>(2) 当別町立地適正化計画との関連について 策定の目的には「当別町の現状を見ると…このようなことを踏まえ、これまでに整備してきた都市基盤や都市機能をはじめとする既存ストックを有効に活用しながら、よりコンパクトで利便性と持続性の高いまちづくりを進めていくため「当別町立地適正化計画」を策定します。」とうたっている。 ここでは、人口減少に対応したまちづくりとして「本町市街地」「太美市街地」として地図で表示し、コンパクト&ネットワークで、集約や複合化することにより利便性を向上させ、その周辺の人口密度を維持するとともに拠点への公共交通ネットワークを整備することで、持続可能なまちづくりを実現とうたっている。 新駅構想との関連について町長の見解を伺う。</p> <p>(3) (1)、(2)の関連で、新駅構想は考慮されていないと思うが、そうだとすれば、この新駅構想は誰が町長のところに持ってきたのか。またその時期はいつだったのか、具体的に伺う。</p>

4 番	鈴木 岩夫	<p>1 新型コロナウイルス対策について</p> <p>(1) 検査について</p> <p>緊急事態宣言の解除に伴い自粛要請も解除された。しかし、市中感染、病院・介護施設でのクラスター発生、医療崩壊の危機は、町民の生命と生活の不安をぬぐえないでいる。安心して社会・経済活動を進めるためにも「検査」が必要だ。少なくともライフラインを支える方々についての「抗体検査」「PCR 検査」が必要と考える。</p> <p>① 国、道に要請すべきと考えるが伺う。</p> <p>② 町独自で実施する考えはないか伺う。</p> <p>(2) 医療機関の確保について</p> <p>発熱した患者が救急車で 16 か所の医療機関に断られるという事態が発生した。優先的に受け入れる提携病院の確保が必要と考える。</p> <p>① 江別または札幌で優先的に受け入れてくれる病院を確保するための手立ては取れないのか伺う。</p> <p>② 町内でも「発熱外来」を引き受けてくれる医療機関を確保するための手立ては取れないのか伺う。</p> <p>③ 夜間診療再開のための手立ては取れないのか伺う。</p> <p>④ 入院可能な医療施設の開設を急ぐべきと考えるが認識を伺う。</p> <p>(3) 町が実施する新型コロナウイルス緊急支援対策について</p> <p>① 「当別町子育て応援商品券の交付」の対象について、なぜ高校生が含まれないのか、高校生まで拡大すべきと考えるが伺う。</p> <p>② 医療大学に学ぶ学生に対する支援策については見当たらないが、今後実施する考えはあるか伺う。</p> <p>③ 診療・通所控えによる医療・介護施設の経営難を支援するメニューは見当たらないが、今後実施する考えはあるか伺う。</p> <p>(4) 教職員などの増員について</p> <p>子どものいのちと健康を守り豊かな発達を保障するためには、教職員・相談員の増員など教育条件の抜本的整備が必要だ。</p> <p>① 国の第 2 次補正予算の内容では全く足りず、20 人以下学級に見合う予算を要望すべきと考えるが伺う。</p> <p>② 国が実施しない場合は、町独自で実施すべきと考えるが伺う。</p> <p>③ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを配置すべきと考えるが伺う。</p> <p>④ 養護教諭を複数配置すべきと考えるが伺う。</p> <p>(5) 児童生徒に対する新型コロナウイルス緊急支援対策について</p> <p>① GIGA スクール構想の早期実現に向けて事業が計画されているが、同時に休校措置がされた場合のオンライン授業可能な整備事業が必要と考えるが認識を伺う。</p> <p>② 要保護及び準要保護児童生徒就学援助事業の拡大について、思い切った審査基準の拡大をすべきと考えるが伺う。</p>
-----	-------	---

		<p>(6) 教育課程編成などについて</p> <p>この間文科省の通知では学習指導要領の弾力化につながる要素がある一方、夏休み削減や土曜授業を求める問題点もある。何よりも学習の遅れと格差、大きな不安とストレスという子どもの実態から出発した、学校現場の創意工夫と自主性を尊重し、学習指導要領の弾力化にふみこむよう求めたい。</p> <p>① 「学習指導要領において指導する学年が規定されている内容を含め、次学年または次々学年に移して教育課程を編成する」「学習指導の重点化」が必要と考えるが教育長の認識を伺う。</p> <p>② 受験学年である中学3年生については、試験範囲などについて休校措置の長期化した当別町の受験生に不利にならないように道教委に強く要請すべきと考えるが伺う。</p>
5 番	五十嵐信子	<p>1 人を呼び込む施策ランドバンクの推進について</p> <p>今後進んでいく人口減少の中にあっても、土地の有効活用を通して、いかに町が活力を取り戻し、災害にも強く安全な地域を構築する事が出来るかが課題である。</p> <p>(1) 未利用地の管理の解決としてランドバンク事業がある。</p> <p>ランドバンクとは、空き家や空き地などを取得し周辺の土地を含めた地域を一体的に活用・再生する手法のこと。山形県鶴岡市の「つるおかランドバンク」はNPOが行い、所有者不明土地になる状況も回避している。このような事例を参考に当別町においても官民連携し、事業展開が出来ないものか伺う。</p> <p>(2) 町で起業したい方・安く物件に引っ越しを考えている方などが空き家を探しても、なかなか見つからなく断念してしまうケースがある。民間と協力し、道の駅など人の集まる場所に情報を設置してはどうか伺う。</p> <p>2 児童・生徒の検定料助成について</p> <p>国の教育振興基本計画では、中学3年生で英検3級相当以上の英語力を持つ生徒を50%以上とする目標を設定している。</p> <p>(1) この目標の達成を目指し、生徒一人一人の英語力の向上のため、具体的にどのような取り組みをされてきたのか伺う。</p> <p>(2) 英語検定の検定料を助成する自治体が増えているが、町の見解を伺う。</p>

6 番	山崎 公司	<p>1 道の駅の現状について</p> <p>2017年9月、道内119番目の道の駅としてオープンして今年で3年目を迎える。</p> <p>(1) 令和元年度、この1年間の入場者数・販売高・客単価は、どのようになっているか。この1年間の特記事項があれば説明願う。</p> <p>(2) 交流人口増加による町内への効果を数値的にどの様に分析しているか。伺う。</p> <p>(3) じゃらの道の駅ランキング2020が発表された。昨年の15位から10位にランクアップされた。この結果の感想と今後の運営にどのように参考にしていくのか。伺う。</p> <p>(4) 若い世代を呼び込む為、昨年、道の駅アンバサダーとしてNORDを起用されたが、どのような成果が出ているか。今後、新たな顧客獲得に向け、新たな企画を検討されているか。伺う。</p> <p>(5) 新型コロナウイルスの緊急事態宣言が解除され、新行動様式「新北海道スタイル」が始まり、町としての道の駅の飲食・来場者・スタッフに対して感染防止にどの様な取り組みをしていくのか。伺う。</p> <p>2 高齢者の免許返納について</p> <p>(1) 70歳以上の町民で、自動車免許証を所有者している方は何名か。伺う。</p> <p>(2) 2019年、当別町の高齢者免許返納者は何名か。伺う。</p> <p>(3) 以前の一般質問の答弁では、免許返納者だけでなく、高齢者や身体障害者等の交通弱者の活動範囲を広げる支援のあり方の検討を行い、コミュニティバスや町内でのタクシー乗車料金の割引等の協議を進めているとのことであった。その後の進捗状況はどの様になっているか。伺う。</p> <p>(4) 自主返納の環境づくりとして、交番だけでなく役場内にも自主返納の手続きが出来る窓口を設けるなどを検討してはどうか。伺う。</p> <p>3 全国体力・運動能力、運動習慣等調査について</p> <p>(1) 今後の当別町体力向上プランの中で、学校・教育委員会・地域の具体的な活動内容と実施状況を伺う。</p> <p>(2) 体力・運動能力では、小学校男子は今回初めて8項目全てにおいて、体力合計点においても全国平均を下回り、体力低下傾向が明確になり、体力の底上げが必要である。具体的にどの様な事を実施しているか。伺う。</p> <p>(3) 放課後、学校グラウンド・公園・体育館での運動による体力向上を目指す、子供達が安心して遊べる場所として両コミセンがある。小学生の入場無料化や遠くに住む子供達の施設利用後のふれあいバス無料化についても検討が必要と思うが、見解を伺う。</p>
-----	-------	---

		<p>(4) 規則正しい生活を過ごすことで、学力と体力の向上を図る。道内、日高町では、「早寝・早起き朝ごはん運動」この4月から条例化された。また、子供のインターネットやゲームの依存症を防ごうとゲーム条例が四国香川県で成立、4月から施行された。当別町においても今後の学力・体力の向上を目指すにあたり、2件の条例化を検討してはどうか。伺う。</p>
--	--	--

【計：6人、3時間00分（1人30分計算）】